



adiva

ELECTRIC VEHICLES

アディバ EVラインナップ

アディバは、1996年にイタリアで生まれた

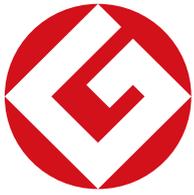
アーバンコミューターブランドです。

開閉式ルーフや独立サスペンション付き3輪構造など、

ユニークなアイデアや技術で人々の移動を快適にし、

喜びにすることを目指しています。

物流プロセスにおける「ラストワンマイル(エンドユーザーへ荷物を渡す、最終工程)」を担う車両です。従来の荷物運搬車両における様々な問題を軽減することはもちろん、これまでにない機能や性能により、新たなビジネスを創造する可能性も秘めています。



GOOD DESIGN AWARD
2018年度受賞

AD-Cargo

軽二輪(125~250cc)クラス

2011年、当社が開発した3輪EV「カーゴ3」が日本郵政に採用されました。その際にいただいた小型化、軽量化のご要望に応え、フルモデルチェンジを行ったモデルが、「AD-Cargo(エーディーカーゴ)」です。大径ホイール、左右独立懸架リアサスペンション、大型の荷台により、従来のデリバリー向け車両では困難だったビジネスモデルを実現します。先進的かつスタイリッシュなイタリアンスタイルも魅力です。

【2018年 グッドデザイン賞 受賞製品】



SPECIFICATIONS

全長 × 全幅 × 全高	2,050mm × 720mm × 1,680mm
シート高	720mm
乗車定員	1名
車両重量	195kg
モーター	ブラシレスDCモーター PM 3-phase
定格出力	4 kW x 2
最高出力	5 kW x 2
ギアボックス	インテグラルホイールハブモーター
バッテリー	リチウムイオン 8kWh 48V

航続可能距離	120km	
最高速度	70km/h	
サスペンション	フロント リア	φ41 油圧式テレスコピック プリロード調整機構付きシングルショック
タイヤ	フロント リア	120/70 - 14" 130/60 - 13" x 2
ブレーキ	フロント リア	ディスク φ210mm ディスク φ210mm x 2



拡張性に優れたメーターパネル

速度、積算走行距離、残り電池容量、走行可能距離などを表示する、フルカラー液晶パネルを採用。今後のシステムアップデートにより、機能を増やすことも可能です。



回生ブレーキ&バック機能

アディバEV全車にマルチファンクションスロットルを採用。走行状態でスロットルを逆方向に回転させると回生ブレーキが作動します。停止状態から逆回転させると、バックも可能です。



汎用性の高い充電システム

ハンドル下部に汎用性の高いSAE J1772ソケットを装備。オフィスや家庭での単相交流充電に対応する3Pプラグ付き充電コードも付属します。



超大型のリアボックス

ユーティリティを考え、上下にハッチを持たせた大型リアボックスを装備。内寸はW600mm×L600mm×H700mmを確保しています。



様々な用途に応えるリアキャリア

リアボックスは脱着が可能で、用途に応じ様々なカスタマイズが可能です。最大積載量は100kgで、重量物の運搬も容易です。



ヘビーデューティーなリア回り

四輪自動車のダブルウィッシュボーンを発展させた、左右独立懸架構造を採用。大径13インチホイールと相まって、悪路や段差でも安定した走行を可能にします。

VX-2

0.6kWモデル：原付一種(50cc未満)クラス
1kWモデル：原付二種(125cc未満)クラス

機動性を追求した、小型の2輪EV。モーター出力の異なる2モデルを設定しました。インホイールモーターを採用することで、パワーユニットのコンパクト化を実現。リアボックス(内寸:W380mm×L270mm×H420mm)に加え、フロントに大型ストレージを備えるなど、サイズを超えた積載能力を保有しています。



コンビネーションメーター

視認性の高いアナログ式のスピードメーターとデジタル液晶を組み合わせたメーターパネル。機能とスタイルを両立しています。



使い勝手の良いフロントストレージ

配送物以外の荷物も入れられる、大型ストレージを装備。ジェットタイプのヘルメットも収納可能です。



脱着可能なバッテリー

バッテリーは車両から外して屋内の100Vコンセントで充電可能。長距離走行に備えて、予備バッテリーを積載するスペースも有しています。



SPECIFICATIONS

	0.6kWモデル	1kWモデル
全長 × 全幅 × 全高	2,000mm × 790mm × 1,210mm	
シート高	760mm	
乗車定員	1名	
車両重量	165kg	
モーター	ブラシレスDCモーター	
定格出力	0.6kW	1kW
最高出力	4kW	6kW
ギアボックス	インテグラルホイールハブモーター	
バッテリー	脱着式リチウムイオン 2.2kWh 48V	
充電時間	2~5時間	

	0.6kWモデル	1kWモデル
充電サイクル	1200回	
電池寿命	6年	
航続可能距離	88km	100km
最高速度	45km/h	75km/h
サスペンション	フロント リア	油圧式テレスコピック プリロード調整機構付きシングルショック
タイヤ	フロント リア	120/60 - 13" 120/60 - 13"
ブレーキ	フロント リア	ディスク ディスク

• 全ての掲載情報は2018年10月現在のもので、予告なく変更する場合があります。• 車両の仕様、色、諸元は実車と異なる場合があります。

パーソナルユースモデル

通勤・通学や、趣味で使用する個人向け車両においても、電動化の時代が到来しました。家庭用コンセントやSAE J1772での交流充電に加え、四輪EVで使用されているCHAdemoでの直流充電に対応することで、ガソリンエンジン車に匹敵する使い勝手を実現しています。

AD1-E

軽二輪(125~250cc)クラス

2輪車の楽しさと手軽さ。4輪車の安全性と快適性。両方の利点を兼ね備えた3輪EVです。開閉式ルーフ、ワイパー付きフロントスクリーン、大型のリアボックスを採用し、アーバン通勤用として高い完成度を誇ります。



全く新しいライディングフィール

4輪車から着想を得た「インディペンデントクワトロ・ウィッシュボーン・サスペンション」を採用。コーナリングやブレーキング時の安定性向上、悪路や段差における乗り心地の向上など、多くのメリットをもたらします。



大容量のリアトランク

大型のバックなども余裕で収容できる、40Lリアトランクを装備。ヘルメット2つに加え、レインウェアなども入れることができます。車体と同色でペイントされ、ボディラインと一体感のあるデザインも特長です。

SPECIFICATIONS

全長 × 全幅 × 全高	2,061mm × 670mm × 1,680mm
シート高	720mm
乗車定員	2名
車両重量	182kg
モーター	ブラシレスDCモーター PM Inrunner
定格出力 / 最高出力	11 kW / 15 kW
ギアボックス	プラネタリーインホイール
バッテリー	リチウムイオン 7kWh 133V



航続可能距離	130km	
最高速度	125km/h	
サスペンション	フロント リア	プリロード調整機構付きシングルショック プリロード調整機構付きツインショック
タイヤ	フロント リア	130/60 - 13" × 2 130/70 - 13"
ブレーキ	フロント リア	ディスク φ220mm × 2 ディスク φ210mm

VX-1

軽二輪(125~250cc)クラス

きびきびとしたスポーティな走りを実現する、2輪EVです。防風性能の優れた大型フロントスクリーンや、タンデムでも快適なゆったりとしたライディングポジションにより、高速道路を利用した長距離ツーリングも快適にこなします。用途に応じ、バッテリー容量の選択が可能です。



マルチファンクション3連メーター

中央にアナログ式の大径スピードメーター、左右にデジタル液晶ディスプレイを備える、3連メーターを採用。左のディスプレイでは、通電状態、トリップ計、走行可能距離、時計を表示。右では、バッテリーの状態をグラフィカルに表示します。



高効率なインホイールモーター

リアホイールに直結した、独自のインホイールモーターを採用。サイズ、重量、部品点数を最小化する、効率的なパワーユニットです。100km/hまで到達するのに6秒と、同クラスのガソリンエンジンスクーターを凌ぐ優れた加速性能を実現します。

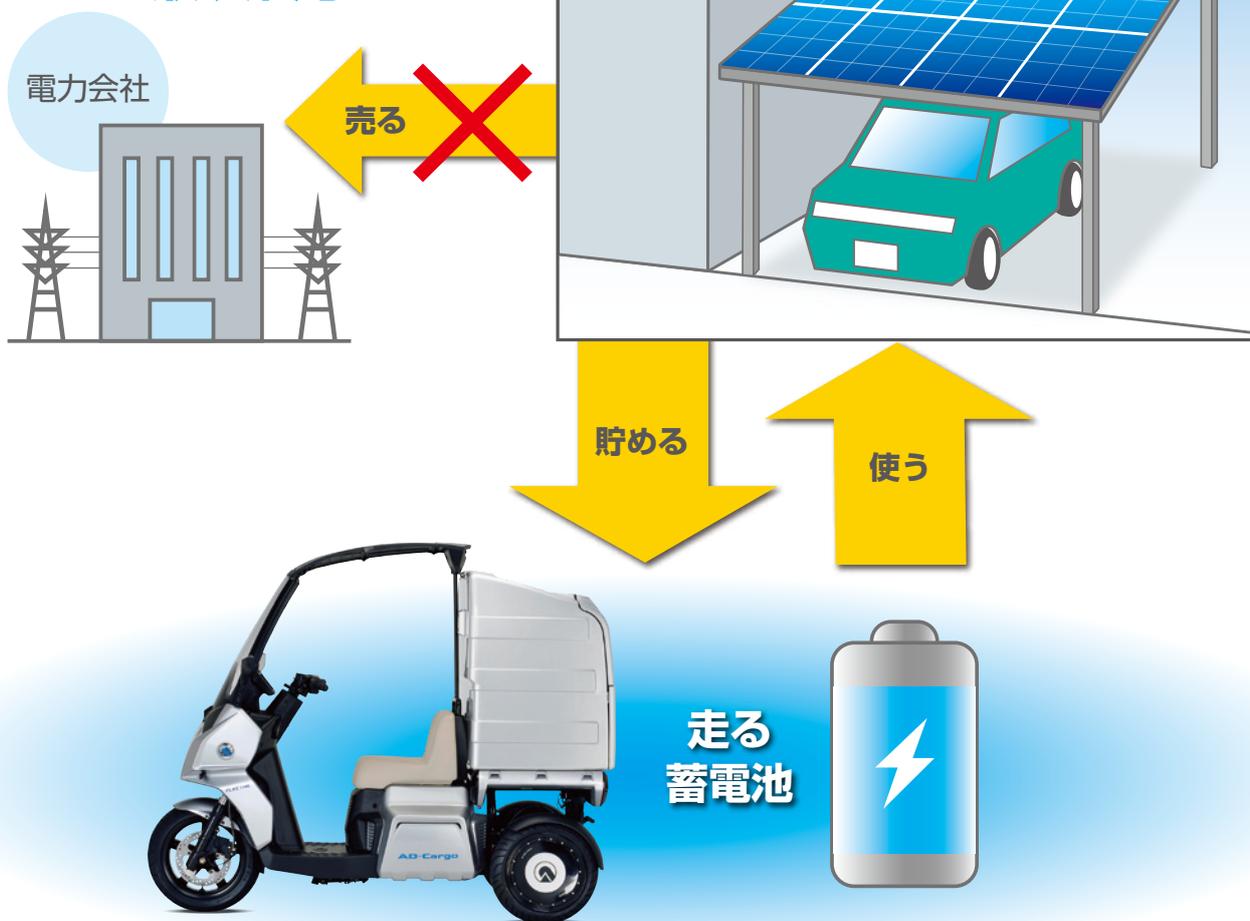
SPECIFICATIONS

全長 × 全幅 × 全高	2,120mm × 810mm × 1,330mm
シート高	770mm
乗車定員	2名
車両重量	210kg
モーター	ブラシレスDCモーター
定格出力	11 kW
最高出力	35kW
ギアボックス	インテグラルホイールハブモーター
バッテリー	リチウムイオン 7.2~14.4kWh 133V
充電時間	1~4時間 (3.3kW充電時)

充電サイクル	1800回	
電池寿命	10年	
航続可能距離	135~270km	
最高速度	110km/h	
サスペンション	フロント リア	油圧式テレスコピック プリロード調整機構付きツインショック
タイヤ	フロント リア	120/70 - 14" 140/60 - 13"
ブレーキ	フロント リア	ディスク ディスク

電動バイクで 太陽光発電の余剰電力を有効活用

住宅太陽光の
固定価格買取制度は
2019年より
順次終了



これまで売却していた電気を電動バイクに貯めて、有効活用

- ① 電動バイクの動力として使用
- ② 自家消費に使用

